

## 8. 世界史を楽しむ科 (2026年度) 全体テーマ：都市

(木曜日 授業予定表) 講師：同志社大学、大阪大学、岡山大学ほか

					午 前			午 後				
回	月	日	曜日	講座数	テマ	内 容	講 師 名	テマ	内 容			
学 期	1	6	月	①	★	<b>①入学式 (大阪国際会議場)</b>						
			木	1	初回ガイダンス／人類の拡散と海	移動と定住：モンゴロイドの「大航海時代」—アフリカ大陸溝帯、人類初期のアジアの定住遺跡	向正樹（同志社大学） 富田暁（岡山大学）	年間学習・行事予定等の説明 クラスオリエンテーション班役割分担説明 班ごと自己紹介				
	2	4	木	2	海のシルクロード	モンスーンが繋ぐ世界—チャンバー、アンコール	富田暁（岡山大学）	<b>コーダイオリエンテーション</b> クラス自己紹介 班各担当 班長決定				
			木	3	ギリシャ・ヘレニズム	都市国家の割拠するギリシア世界、王国の割拠するヘレニズム時代—アテネ、アレクサンドリア、ペルガモン	柴田広志 (佛教大学)	自主活動	クラス委員長決定 各担当別会議（代表者決定）遅足行先検討			
	5	14	木	4	東西ローマ世界	2つのローマと地中海世界の変容—ローマ、コンスタンティノープル	柴田広志 (佛教大学)	"	班別テーマ検討			
			木	5	東アジアの古代1	「中華」の誕生—洛陽、建康（南京）	赤羽奈津子 (龍谷大学)	"	班別テーマ検討			
	6	21	木	6	★校外学習 東アジアの古代2	遣隋使はなぜ派遣されたのか—平壤、漢城、慶州、奈良	赤羽奈津子 (龍谷大学)	"	班別テーマ検討			
	7	28	木	7	★	<b>②遠足 (クラス単位で実施)</b>		日程変更可 1学期中に実施				
	8	4	木	8	★							
	9	11	木	9	唐とシルクロード	唐帝国の本当の「強さ」とは？—長安（西安）	猪原達生 (大阪大学)	自主活動	班別テーマ検討			
学 期	10	25	木	10	東部ユーラシア世界の展開	共存と繁栄の時代—開封	遠藤総史 (志學館大学)	<b>③社会への参加活動 (準備活動) (活動事例研究)</b>				
	11	2	木	11	遊牧民と中央ユーラシア	騎馬遊牧民の誕生とその展開—統万城、平城	旗手 瞳 (同志社大学)	自主活動	健康まつり説明 参加対応検討			
	12	9	木	12	モンゴル帝国	モンゴル帝国—大都（北京）	旗手 瞳 (同志社大学)	"	フェスタのクラス発表テーマ内容検討			
	13	16	木	13	東アジアの近世	「大きな中国」か、「小さな中国」か	猪原達生 (大阪大学)	1学期成果発表				
	14	8			<b>夏 休 み</b>							
	15	17	木	14	大航海時代	ポストモンゴルのインド洋—南京、スラト、アグラ	向正樹 (同志社大学)	講師交流会	講師と受講生の交流；普段聞けなかった事を聞こう			
	16	24	木	15	中世ヨーロッパとカトリック世界	一千年のヨーロッパ・キリスト教世界—ローマ、ヴィットンベルク	石坂尚武 (同志社大学)	自主活動	健康まつり説明 参加対応検討			
	17	1	木	16	初期グローバル化と近世	ペストから見る中近世—フィレンツェ	石坂尚武 (同志社大学)	"	コーダイフェスタ発表準備			
	18	8	木	17	★	<b>④コーダイ健康まつり (日程・場所 未定)</b>						
	19	15	木	18	東南アジアの近世	交易の時代と「伝統」東南アジアの成立—マラッカ	遠藤総史 (志學館大学)	自主活動	コーダイフェスタ発表準備			
学 期	20	22	木	19	★校外学習 埠探訪	「日本と世界が出会うまち・堺」を訪ねる	猪原達生 (大阪大学)	"	コーダイフェスタ発表準備			
	21	29	木	20	イスラームの成立と発展1	新しい世界の形成—政治的中心の移動—カイロ	堀井優 (同志社大学)	"	コーダイフェスタ発表準備			
	22	12	木	21	イスラームの成立と発展2	再編される世界—東地中海の諸商港—カイロ	堀井優 (同志社大学)	"	コーダイフェスタ発表準備			
	23	19	木	22	東アジア海上世界の形成	中国の近世—海を越えて広がる城隍廟	濱島敦俊 (大阪大学)	"	コーダイフェスタ発表準備仕上げ			
	24	木	23	★	<b>⑤コーダイフェスタ (豊中市立文化芸術センター)</b>							
	25	3	木	24	東アジアのなかの台湾	東アジア海上世界の果実—台湾	濱島敦俊 (大阪大学)	自主活動	班別テーマ検討			
	26	10	木	25	東南アジアの植民地化	宗主国は植民地に「良いこと」もした（残した）のか？—シンガポール、スラバヤ	富田暁 (岡山大学)	"	班別テーマ検討			
	27	17	木	26	自主企画講座			"	成果発表会内容検討			
	28	14	木	27	冬 休 み							
学 期	29	21	木	28	⑥ ★	<b>⑥社会への参加活動 ··· (仮日程：1学期～3学期の間に活動日を1回設定)</b>						
	30	2	木	29	ヨーロッパ諸国の革命運動から誕生した新しい政治秩序	①国境変更と新しい統一体形成 ②現在ロシアがウクライナを侵攻する鍵をクリミア戦争から推測	杉本宗子 (神戸大学)	自主活動	成果発表会準備			
	31	4	木	30	アメリカ合衆国の誕生	植民地から霸権国への道のり	安井倫子 (大阪大学)	"	成果発表会準備			
	32	18	木	31	グローバル化の中で	アメリカの世紀の終焉—デトロイトとフィデルフィアを事例に	安井倫子 (大阪大学)	"	成果発表会資料まとめ			
	33	25	木	32	27	学習成果発表会	向 正樹 (同社大学)					
	34	木	33	7	<b>⑦修了式</b>							
	35	4	木	34	⑧ ★	<b>⑧・⑨卒業旅行 (クラス単位で実施 1泊2日)</b>						
	36	5	金	35	⑨							
授 業 (自主企画、成果発表会含む)					27 (講座数列1～27)							
学習事業 (①～⑨)					9 (講座数列①～⑨)							
合 計					36							

は、都合により変更になる場合があります。

2025/11/27